平成28年12月15日

宗像市議会

議長 花田 鷹人 様

予算第1特別委員会 委員長 井上 正文

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を宗像市議会会議規則第110 条の規定により報告します。

記

第 111 号議案 平成28年度宗像市一般会計補正予算(第3号)について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ16億7,529万円を増額 し、355億1,248万9千円とする。また、繰越明許費、債務負担 行為、地方債の補正を行う。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入
- (1) 市税の増額(1億800万円)

納税義務者の増加及び市内大手事業者の増収による市民税法人の増額、土地の価格の下落が想定よりも少なかったこと及び償却資産の増加による固定資産税の増額などが主な要因である。

(2) ふるさと寄附金の増額(2億円) 今年度の目標額を4億円から6億円に変更する。

2 歳出

- (1)経済対策臨時福祉給付金事業費の計上(3億4,136万6千円) 経済対策として国の補正予算に計上されたことに伴うもので、全額国庫 補助事業である。本市は、市民税非課税者を対象に1人当たり1万5千円 を給付する予定であり、対象者は約2万人を見込んでいる。
- (2) 障害者福祉費の増額(3億674万2千円)

障害者サービス事業所の増によるサービス量の増加、障害福祉サービス 利用計画作成の義務化により、利用者ニーズの把握が可能になったことな どに伴い、扶助費が増額したことが主な要因である。

(3) 児童福祉費の増額(1億1,182万6千円)

乳幼児医療費は受診件数の増加、児童手当給付費は対象者数の増加、教育・保育施設型給付事業費の保育所・認定こども園保育実施委託料は、対象児の低年齢化による保育単価の増に伴う増額である。

- (4) 小学校施設改修事業費の増額(4億4,519万円) 国の補正予算で採択された、地島小学校大規模改造2期工事及び小学 校11校の特別教室等の空調工事を行う。
- (5) 職員人件費の増額(3,779万9千円)

人事院勧告に伴う給与改定、人事異動、時間外及び休日勤務手当の増額 により、三役、一般職の人件費を増額する。

3 繰越明許費

下記の事業費の繰り越しを行う。(1)、(6) については6月補正予算で計上したが、施設改修の工法の選択や大島島民の意向を反映するために開催したワークショップなどに不測の日数を要したことにより、今年度中の工事完了が見込めないため、繰り越しを行う。

- (1) 離島振興事業費
- (2) 経済対策臨時福祉給付金給付事業費
- (3)地域密着型施設等整備補助費
- (4) 橋梁長寿命化事業費
- (5) 小学校施設改修事業費
- (6) 大島ガイダンス施設整備事業費

4 債務負担行為

コンビニ証明発行システム構築委託費の追加(6,337万5千円) 今年度中にシステムの構築を開始する必要があるため、追加を行う。 29年4月にプロポーザル方式で長期継続契約を行うため、限度額に ついては5年分の経費、期間については28年度から29年度で計上 する。

【意 見】

(賛成意見)

- ・小中学校の普通教室へのエアコン設置の検討、保育所待機児童の受け 入れ体制の整備、小学校就学援助費の入学準備金支給についての早急 な改善、生活保護者に関する調査の項目などへの配慮を要望する。
- ・人事院勧告による給与改定については、国の勧告に全て従うのではな く、市独自の判断を行う人事委員会などをつくるべきだと考える。
- ・障害者福祉事業費については、しっかりと現状を把握し、サービスを 受ける機会を確保すると同時に、サービスの上限をコントロールする ことが必要だと考える。小学校就学援助費については、入学準備金を 支給するだけではなく、保護者と就学後のことを話し合う機会となる よう相談体制をとって欲しい。
- ・証明書のコンビニ交付は、セキュリティ対策、安全性などについて市 民に十分に周知を図り、市民の利用意向の調査をした上で開始して欲 しい。
- ・市民からの改善要望に対応することが、行政への信頼を高めるので、 維持管理に関する予算を十分確保することを要望する。
- ・証明書のコンビニ交付に向けての準備を着実に進め、広報紙などを利用したマイナンバーカードの普及を図っていただきたい。小中学校のトイレについては、時代の流れを見通して洋式化の検討を進めて欲しい。
- ・大島福祉センター改修事業は、利便性の向上が期待されることから評価する。地島小学校横の急傾斜地の整備は、今後も県と協議を重ねな

がら進めて欲しい。小学校就学援助費の入学準備金については、申請の ための返信用封筒を同封した上で全員に郵送して周知するなどの改善を 要望する。

・繰越明許費補正については、今後は年度途中に補正した予算が年度を繰り越さないように、しっかりと事前の準備をした上で上程して欲しい。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。